

コイ（鯉）の季節

今年のゴールデンウイークは飛び石連休でしたが、どのように過ごされたでしょうか。この時期、端午の節句の鯉のぼりにちなみ、一部のプロ野球界隈では「鯉の季節」とも呼ばれます。鯉は英語でcarpですので、「広島カープの季節」という意味になるわけですが、なぜ“カープ”が球団名に入っているかというと、かつて「己斐浦（こいのうら）」と呼ばれた地に建てられた広島城が、別名「鯉城（りじょう）」と呼ばれることに由来しています。昭和の時代、「カープは鯉のぼりの季節まで」と言わされたそうですが、近年は鯉のぼりの季節以降の方が勝率は高いようです。カープファンの私としては、シーズン終盤までずっと「鯉の季節」であって欲しいと願うばかりです。なお、鯉のぼりは中国の故事にある「登竜門」と関係があり、後漢書によれば、「竜門の滻」は竜門へと続く中国の黄河中流の激流で、この滻を唯一登りきった鯉は化して竜となるとの伝承があり、中国では鯉は出世魚とされてきたそうです。



「泳ぐ芸術品」錦鯉の“白写り”

日本伝統の「泳ぐ芸術品」と称される錦鯉ですが、現在の錦鯉の祖先にあたる絹鯉は、江戸時代に新潟県の山古志地方で食用として飼育されていた真鯉が突然変異して産まれたと考えられているそうです。その後、より美しい、より珍しい鯉を作ろうと改良が重ねられ、現在では80を超える多様な品種が生産されています。錦鯉は国内だけでなく、国外でも人気が高まっており、2024年は過去最高の輸出金額（48億円）となりました。香港、アメリカ、中国、ドイツ、オランダ、インドネシアの上位7か国輸出金額の60%を占め、中国や東南アジアでは、特に御三家といわれる品種（紅白、大正三色、昭和三色）が好まれているそうです。（農林水産省HPより）



香川県高松市の栗林公園の鯉

私たちがイメージする錦鯉の色と言えば、赤・白・黒の組み合わせが多いと思いますが、実は「紅白」と「大正三色」は白の地肌（白地）に絹斑及び黒の斑紋が入ったもので、一方「昭和三色」は黒の地肌（黒地）に絹斑及び白の斑紋があるものという違いがあるそうです。なお、「白写り」という品種（写真は全日本錦鯉振興会のHPより）は、「昭和三色」に赤い模様が入らない白と黒のモノトーンの体色が特徴であり、白の斑紋はより白く、墨は頭から尾にかけてバランスよく豪快に巻き上がるように入るものが良いとされています。錦鯉の世界は奥が深いですね。



サシバエと白黒縞模様

春になって気温が上昇すると、畜産にとってやっかいな“サシバエ”が活発になってきます。サシバエは名前の通り、成虫はすべて哺乳類から吸血して生活し、吸血性の力やアブなどが雌のみ吸血するのと異なり、雄も雌も血液を食物とします。サシバエは家畜の糞中に産卵するため、牛床や堆肥が主な発生源となり、特にウシや馬

などの大動物で大きな経済的損失を引き起こすことが報告されています（アメリカでは年間 22 億ドル以上と試算されている）。サシバエに吸血されると痛みや痒みを伴うため、ウシは忌避行動（頭を激しく振る、皮膚を痙攣させる、尻尾を振るなど）を増やしたり、横臥・睡眠時間を減らしたりするなどの行動の変化が見られるようになります、採食量の低下やエネルギー消費に伴う乳量の減少や増体重の減少につながります。

サシバエ対策としては、殺虫剤の散布、防虫ネットの設置、下草刈りや防草シートの設置などが主になりますが、サシバエ界では有名かつ見た目にもインパクトがある研究論文がありますので紹介します。

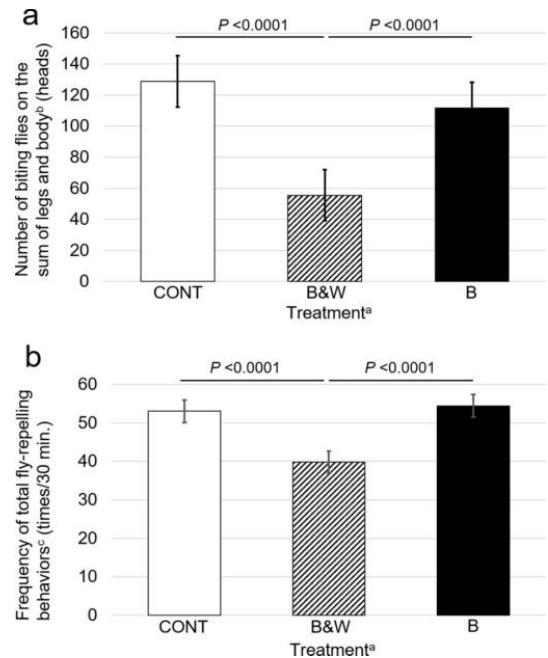
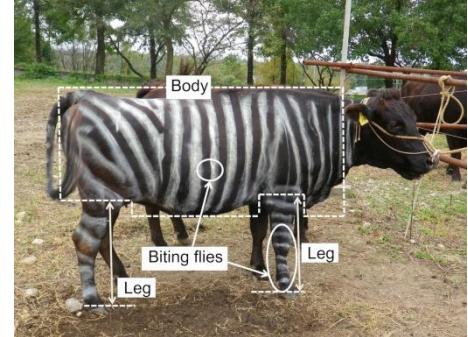
「シマウマ模様を描いた牛はサシバエの攻撃を避けることが出来る」（Cows painted with zebra-like striping can avoid biting fly attack、T.Kojima et al. 2019 PLOS ONE）によれば、3 頭の日本の黒い牛に ①白い水性塗料で縞模様をペイント（白黒縞模様 B&W、写真是論文より引用）、②黒い水性塗料で縞模様をペイント（黒縞模様 B）、③縞模様のペイントなし（対照 Cont）を施したうえで、サシバエが止まった数の計測（30 分×1 日 4 回）とウシの忌避行動の観察（30 分×1 日 2 回）を行ったところ、白黒縞模様のウシではサシバエの数は半減し（グラフ a）、忌避行動は 20% 減少した（グラフ b）とのことです。黒縞模様にはそれらの効果はなく、シマウマのような“白黒”であることが重要だと報告されています。

（<https://journals.plos.org/plosone/article?id=10.1371/journal.pone.0223447>）

シマウマとアブでの先行研究では、高速で近寄ってきたアブがシマウマの表面に接触する前に減速しない（つまりシマウマの体に止まらない）ことが分かっており、白黒縞模様を施したウシにサシバエが止まることを防いだ理由も、明るさや偏光の調節によるものと考えられているそうです。

実際に牧場のウシ全頭に白黒縞模様をペイントするのは不可能とは言え、サシバエの行動に着目した非常に興味深い研究ですね。

5月5日は子どもの日でしたが、総務省の発表では、子どもの数（15歳未満人口）は2025年4月1日時点での前年より35万人少ない1,366万人で、総人口に占める子どもの割合も11.1%と過去最少を更新したそうです。第二次ベビーブーム後の1982年時点では、子どもの数は約2,000万人で割合は約25%でしたので、44年連続で減少している状況となっています。（O）



お知らせ

印刷用の PDF ファイル

印刷用に PDF ファイルを添付しました。PDF ファイルをご利用いただくためには、Adobe Reader が必要です。お持ちでない場合、[こちらからダウンロードし、インストールしてご利用ください。](#)

メールマガジンへの登録・ご質問等

メールマガジンの配信の停止や登録内容の変更、お問い合わせ、ご意見・ご要望等等は[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページをご利用ください。

アドレス変更をお忘れなく

人事異動、転退職等でメールアドレスが変更になった場合で、引き続き日産合成工業株式会社のメールマガジンの配信を希望される方は、旧アドレスと新アドレス及び新所属等を[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページを利用してお知らせください。配信できなくなったアドレスは、マーリングリストから自動的に削除しておりますので、よろしくお願ひします。

QR コード

QR コードから、[当社のウェブサイト](#)のトップページにアクセスできます。

